

平成27年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告

佐世保市立祇園中学校

所在地 佐世保市祇園町14番12号

校長 妻夫木 敏明

生徒数 1年生110名 2年生130名 3年生135名 総計375名

学級数 12クラス 特別支援学級2クラス 全学級14クラス

1 学校経営ランドデザイン



## 2 目的

学校教育目標の具現化のために、以下の目的を設定した。

- (1) 新しい立地条件を活かした教育の展開を図り、豊かな感性や人間としての在り方生き方などを学ばせる。
- (2) わかる授業の展開や、授業法の改善、朝読書の推進、学習案内を用いた家庭学習との連動など基礎学力の定着を図る。
- (3) 専門家による歯科保健や性についての講演、食育教育を通して「健康教育」の推進にあたる。
- (4) 各種講演会を実施し、保護者への啓発活動の展開を図りながら家庭教育との連動を図る。
- (5) 開かれた学校を目指し、保護者・地域と連携し、地域の中核としての機能の充実を図る。
- (6) 本物にふれる教育に取り組み、地域人材を活用した「伝統文化学習」を推進する。

## 3 実践内容

### (1) 学力向上の推進

- ① 「主体的に学び、お互いを高め合う生徒の育成～学びの連続性の工夫を通して～」を校内研究テーマとし、基礎・基本の定着や家庭学習の習慣化に向けて、授業改善に取り組むとともに、各家庭には「学習案内」(学習の手引き、シラバス等)を配布し、学習の習慣化を推進した。
- ② 英語教育の推進とともに言語活用能力の向上に向けて、「イングリッシュスピーチコンテスト」を実施した。ALTや外部から外国語の講師を審査員に招いて取り組んだ。
- ③ 言語活用能力向上の一助として、図書利用を活性化させるために、保護者から「図書ボランティア」を募り、環境整備等を含め利用しやすい図書室運営に取り組んだ。



### (2) 豊かな心の育成の推進

#### ① あいさつ運動・ペットボトルキャップ収集

本校では、生徒会を中心に「朝のあいさつ運動」「ペットボトルキャップ収集」等の奉仕・ボランティア活動に取り組んでいる。

ペットボトルキャップの収集においては、毎月生徒会朝会で集計結果を発表し、熱心に取り組んだ学級の表彰を実施している。収集したキャップは地域の企業に持参し、ポリオワクチンの購入に役立ててもらっている。



#### ② いのちを見つめる講演会

6月3日(水)、スクールカウンセラーで本校学校評議員(元中学校校長)である堀江和憲氏を講師に、「やがて大人になる君たちへ」と題し、いのちの大切さについて講話をいただいた。いのちに関わる実体験をとおして、今いのちがあることへの感謝の気持ちやたった一つしかないいのちを大切にすることについてお話をいただき、改めていのちを見つめる大事な機会となった。



③ 「いのちを見つめる」一斉道徳授業の公開

6月3日(水)、「いのちを見つめる強調月間」の取組の一つとして、「生命の尊重」を題材に、各学年で一斉道徳を行った。現在の生活を見つめ直し、自他のいのちの大切さについて考えを深める学習に取り組んだ。



④ 救命救急実技講習

7月8日(火)、水難事故防止に備え、2年生学年行事の一環として、佐世保市消防局署員を講師に招き、救命救急実技講習会を実施した。人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの使用法等を保護者とともに受講し、命の大切さを改めて学ぶ大切な取組となった。



(3) 健康教育の推進

① 歯科講話

11月19日(木)、本校歯科校医の徳富敏信先生を講師に「歯の健康について」と題し、歯科講話をいただいた。歯周病のスライド等を提示しながら、歯に関する知識や正しい歯の磨き方など、自己管理能力を高めることの大切さを学ぶ良い機会となった。



② 食育講演会

12月1日(火)、聖和女子中・高等学校の中尾慶子先生を講師に招き、「食で変わる心と体」と題して、今の食生活を改善することが、将来の自分の生活を大きく左右することを、具体的に例をあげお話しいただいた。食事に際し、正しい知識を身に付けバランスのとれた食生活を心がけることの大切さを学ぶ機会となった。



(4) 人権・平和教育の推進

6.29平和集会では、佐世保空襲を語り継ぐ会から高柳秀子様を講師にお招きし、「70年前を振り返って」と題し講話をいただいた。当時の焼け野原となった佐世保の様子や悲惨な戦争の現状を切々と訴えられた。また、8.9平和集会では、広島・長崎原爆や戦争と平和に関する発表や長崎原爆祈念式典にあわせ黙祷し、長崎県民、日本国民として、過去のこの日をより身近なものとして認識し、二度と戦争や原爆で苦しむことがない平和な世の中をつくる心をはぐくんだ。

12月4日(金)には、「互いの違いを認め、互いの人権を尊重する心を育てる」をもとに、各学年のテーマに基づく学習や人権標語の発表を行った。また、担当教職員の手話講座なども実施し、身近な人権を見直すとともに、一人一人の個性の尊重する大切さを学ぶ意義深い学習会となった。



## (5) 防犯教育の推進

### ① 情報モラル学習会

7月7日(火)、県メディア安全指導員 久野妃呂美氏を講師に招き、「メディアとの上手なつきあい方」と題し講話をいただいた。中高生が陥りやすいスマートフォンや携帯電話等の危険性をしっかりと把握し、利便性を生かした活用を学ぶことのできた学習会となった。



### ② 薬物乱用防止教室

10月2日(金)、佐世保税関支署の上席監視官 山本敏昌氏を講師にお招きし、「薬物乱用防止と税関業務について」と題し講話をいただいた。日常の税関業務における不法薬物の発見の仕方や薬物の人体に及ぼす恐ろしさなどを麻薬犬の実演などをおして学ぶことができる機会となった。

### ③ 護身術教室

11月9日(月)、不審者対策として、1年生学校行事において、長崎県警察のスクールサポーターの村瀬金哉氏を招き、危険から身を守る護身術教室を開催した。登下校を含め、毎日の学校生活が、より安全・安心に過ごせるように保護者とともに技術を学んだ。



## (6) 地域交流

9月13日(日)、サマースクール(中学校区健全育成協議会主催)で講師のアシスタントとして、学芸ボランティア部が参加した。車いす体験やフラワーアレンジメントなどを小学生へ丁寧に指導した。



11月7日(土)、中部地区公民館文化祭に、各学年から習字や教科作品(社会・美術・技術・家庭)を出展し吹奏楽部がオープニングアクトを務めた。地域行事に参加し地域の方々と交流を深めた。



## (7) 本物を学ぶ「伝統文化学習」

1月15日(金)・22日(金)、2年生を対象に伝統文化体験学習を実施した。日本の伝統文化に造詣が深い地域の方を講師に招き、基本を学ぶとともに礼儀や作法等の体験もした。本年度は8コース(茶道・華道・書道・箏曲・民謡・俳句・弓道・着付け)を開設し、日本の伝統文化の優雅さや奥深さを再発見する貴重な時間となった。



## 4 成果と課題

本年度も、学校教育目標の具現化を図るために、地域の人材を活用しながら、特色ある学校づくりを推進してきた。健全な生徒の育成は、保護者や地域の願いであり、地域を活性化させる源となる。これからも幅広く学ぶ機会を取り入れ、確かな学力と豊かな心を育みながら、地域に根ざした学校づくりを邁進し、祇園ブランドの確立を図っていきたい。